

でも給食費は保護者の負担とする市長の考えは変わらないのか。

市長 先行きが不透明な財政状況の中で、現時点で継続的に年間8億円余を捻出するのは困難だと考える。

議員 基金を活用し、市が先行して無償化を行えば、国や都を後押しできるのではないか。

企画部調整担当部長 経常的な市負担の増となる給食費無償化の財源に基金を活用すると、いずれ基金が枯渇し、緊急時や今後の財政見通しを踏まえた対応が立ち行かなくなる。

議員 市長は本市の最優先課題の二丁目一番地は再開発事業だと公言してきた。



### 井口グラウンドの人工芝敷設は再考を

議員 都内で保育所等を運営する株式会社コスモスが複数の自治体で保育所建設工事に係る補助金を過大受給し、本市における不正受給額は約1千300万円と報じられた。小金井市は保育園への補助金を改めて調査し10施設で計4千万円の過大支給が明らかになった。本市でも調査を行うべきだ。

子ども政策部調整担当部長 待機児童解消に向けて多くの保育園整備が進められていた状況だったので、他に過大支給の事例がないか既に調査を進めている。

議員 コロナの5類移行や国が自治体の病床削減を迫

教育の負担軽減や給食費無償化の優先順位は再開発より低いと考えているのか。

市長 再開発は未来への投資であり、将来、税収として戻ってくれば福祉や子育ての充実に充てることのできる。まちの様々な課題にバランスよく対応するために、未来に向けて税収を上げることは大変重要だ。

議員 8億円での完全無償化が難しいれば、3億円でできる中学校給食の無償化だけでも検討できないか。

第二副市長 中学生だけ無償化などといった議論よりも、未来への投資として子どもたちのために自治体は何をすべきかを総合的に考えたい。

日本共産党 前田 まい 議員

されている。人工芝からP FAS(有機フッ素化合物)の検出や温室効果ガス放出が確認されており、この採用は環境面からふさわしくないと考える。所見を伺う。

都市再生部長 環境面に配慮した舗装材を検討する。

### コミセンプールの存続を求める

議員 外環道中央ジャンクション(仮称)の工事による地域の分断を解消するために、上部空間の早期の地域開放が求められている。開放に向けた取り組みと今後の見通しについて伺う。

都市再生部長 事業者へ要望し、前向きに検討するとの回答を得ている。

議員 令和元年度以降開放されていない新川中原コミュニティ・センターのプールの再開が強く望まれている。再開に向けた施設改修の考え方を伺う。

生活環境部調整担当部長 他のコミセンのプールも老朽化が進んでいるため、公共施設全体のプールの在り方を検討する必要性があると判断し、早急な修繕工事を見送ることとした。

議員 公募の対象となるような災害医療に対応できる市内の病院は限られるのではないかと、井口特設グラウンドに移転後、跡地に病院をつくらねいとすると、跡地はどうするのか。

都市再生部長 病院事業者が判断するところとなる。

議員 井口特設グラウンド整備に人工芝の敷設が予定

日本共産党 栗原けんじ 議員

日本共産党 大城 美幸 議員

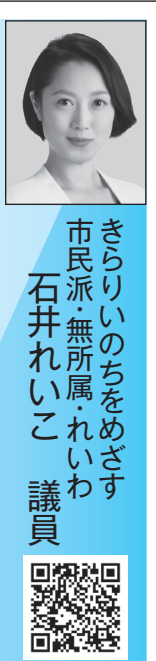
### ボール遊びができる公園の増設を

分析を行い発生状況を共有するとともに対策を徹底し再発防止に努めている。また教育委員会としても指導、助言を行っている。

議員 ボール遊びができる公園を増やしてほしいとの要望がある。今後の整備・増設について所見を伺う。

都市整備部調整担当部長 ボール遊びができる広さの確保が難しいことや近隣との関係などの課題があり、現段階でボール遊びができる公園の整備・増設の具体的な計画はない。

議員 ボール遊びができる公園を整備する際は利用者のマナー等の徹底や近隣住民への理解促進が必要だ。



市長 注意看板の設置や巡回パトロール等、様々な方法でマナー等の徹底を呼びかけている。また、近隣住民には直接話をし、ハード面もしっかり整備しながら理解促進に努めている。

議員 教職員には子どもの声に耳を傾け、じっくりと話を聞くゆとりが必要だ。教職員に欠員が生じた際の教育委員会の対応を伺う。

教育部調整担当部長 都の任用支援の案内や非常勤講師に係る手続きの助言などを行っている。

議員 自ら命を絶つことを

り組みは足りているのか。

子ども政策部調整担当部長 保護者や周囲の人の愛着形成が大切であり、保護者へのサポートも含め取り組みを進めている。

議員 子どもから高齢者までが互いに認め合い、一人ではないと思えるまちを目指し、広報や講演などを積極的に行っていくべきだ。

健康福祉部長 親子関係を育む講座等で周知するほか、安心して過ごせる居場所づくり等に取り組む。

### 子どもから井口グラウンドを奪うな

議員 井口特設グラウンドの存続について市内8カ所でシール投票を行ったところ、多くのサッカー少年たちも投票に参加し、潰さない308票、潰す0票という結果だった。この声をどう受け止めるか。

市長 グラウンドの土地を売却してしまうのではなく、一部を存続し恒久的な施設として整備する方針だ。

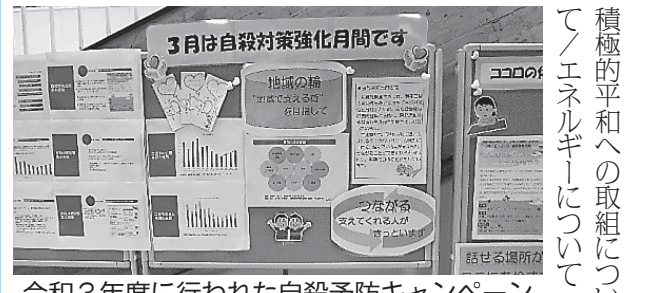
議員 大沢野川グラウンドは野川からの越流により1年の3分の1は利用できない上、坂下に位置するため子どもの自転車でのアクセスも難しく、代替施設になり得ないのではないかと。

スポーツと文化部長 大沢野川グラウンド以外の施設利用についても、丁寧な周知を行いたい。

きらりいのちをめざす 市民派・無所属・れいわ 伊沢けい子 議員

きらりいのちをめざす 市民派・無所属・れいわ 石井れいこ 議員

議員 井口グラウンドの半



令和3年度に行われた自殺予防キャンペーン